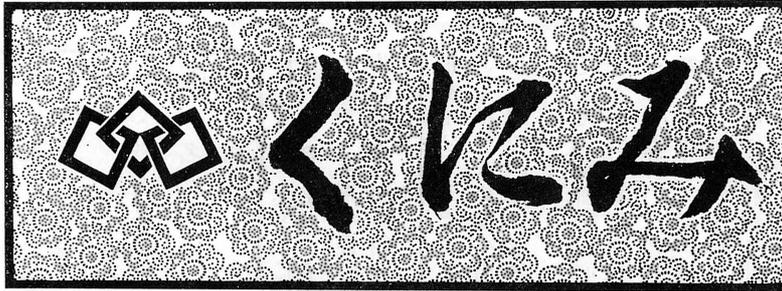


人口と世帯数
 男 5,792人
 女 6,169人
 計 11,961人
 世帯数 2,628世帯
 46.12.10 現在



No. 171

1971/12/15

編集発行 国見町公民館



《婦人会おどりクラブ》



《コーラス教室》

第1回 国見町文化祭 …… 芸能発表会 各種展示会

(絵画、生徒児童作品、盆栽、歴史民族資料、写真)

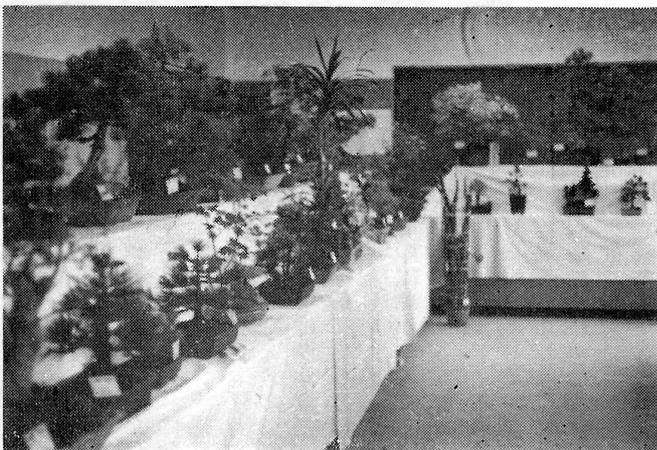


《ブルーハード》

第一回の文化祭が予期以上の好成績であったことは出演者、出品者の熱意の然らしむるところであり、全く感謝に堪えません。しかし問題がない訳ではない、私どもはこうした問題を解決して、より高い文化の創造に努力せねばならない。第二回は思いを新たに、更によいものにするよう、関係者各位のご協力を今からお願いする次第であります。



《歴史民族資料展示》



《盆栽展示》

ことしもよろしく
 昭和四十六年度歳末たすけあい運動
 昨年の歳末たすけあい運動の実施に際しましては、町民各位の絶大なるご協力をいただき、多大の義援金を見ましたことは誠に有難くお礼申し上げます。
 つきましては、社会福祉事業推進のため幾多のご支授ご協力を仰がなければなりませんので、何かと出費多端の折恐縮とは存じますが、何とぞ本年も皆様方のご協力によりまして、病気や貧困のため暗い生活にあえぐ人達のため、少しでも明るい希望と明日への励ましを贈って「明るい家庭、町づくり」に特段のご協力をお願い申し上げます。なお当町におきましては、三八七・一五〇円の目標額を設定し、本運動を展開いたしておりますので、何とぞ目標額の達成に、ご協力をお願いいたします。
 共同募金会国見町分会長 関口道孝

国見町民生委員・児童委員名簿

(任期46、12、1~49、11、30)

地区名	氏名	担当地区名
小坂	佐藤 節子	小坂、大田川
〃	安藤 留作	前田、板橋
〃	小野 寺省二	泉田上、中、下
〃	後藤 清	鳥取
〃	熊坂 イワシ	内谷、西東
藤田	奥山 シマ	駅前
〃	鈴木 志都賀	大町南
〃	関 昭子	大町北
〃	宇佐美 兵蔵	錦町
〃	曳地 善作	本町
〃	奥山 勝太郎	宮町南
〃	佐久間 岩吉	宮町北、源宗山
〃	五十嵐 衛	宮東、町東、鶴町
〃	佐藤 マサイ	石母田表、北、東、上野
〃	斎藤 長一	石母田西、原
〃	吉田 忠吉	山崎館、小館、北、滝山
森江野	朝内 ひで	第1、2
〃	吉田 正雄	第3、4
〃	斎藤 兼吉	徳江北
〃	佐野 市郎	第7、8
〃	村上 ハツヨ	第9
〃	佐久間 いち	第10、11、12
大木戸	佐藤 勝	貝田
〃	遠藤 キミ	光明寺
〃	八島 福太郎	高城
〃	村上 トミ	大木戸
〃	松浦 ハル	山根
大枝	松浦 新一	原町、築館、並柳
〃	佐藤 ハル	中部、北部
〃	岩城 健治	川内

町議研修旅行

その二

さて、栗東町長のお話を聞いたままを概略記して、参考に供したい。

まずインターチェンジについては先に両隣の町で敬遠したので之幸いと頂いたといっていた。

そして工業都市と必然的に起る人口の増加を見越して上水道を作り、地盤整備事業と共に土地開発事業団を設立し、工場用地や住宅用地の確保を計画年間八億円

の土地を購入、道路下水等を作り整地をして大都市の商工会議所に照会し、工場等の誘致を図った。

こうした宣伝により集まった希望会社から事業の内容計画を聞いて、公害のない堅実な会社にこの用地を年

賦で売却するという方針なので公害については現在心配ないとの事尚こうして事業団は相応の事業収益をあげている。その収益は公共投資にむけられている。

この町の総面積は五三〇五ヘクタールその内約五分の一以上が市街化区域に指定され、それぞれの用途別に区分されて六〇%が住居地域に、工業地域には二二%残りは準工業用地や、商業地域となっている。

この様にして町の環境が変り農家平均の耕作面積も八反歩から六反歩に減少し、随って産業別人口にも第二次、第三次産業に比重を加えて来た。

栗東町は、非常に上質米の生産地として知られ、すし米として広く需要されているとのことであり、昔は二毛作の菜種も栽培され菜種の産地でもあったとのこと

こうした事情から勢い工場等に働く様にならざるを得なくなり、主婦迄が勤める様になったため、町長曰く、栗東の女はお金取りも上手になり、またヘソクリもしたという。要求が満たされるのだから、こたえられないと笑うため美人とな

りお陰で農協は貯蓄が漸増して四六億になったとの事尚丘陵地帯に日本競馬協会の競走馬のトレーニングセンターがあり之も年々隆昌を極めていくとのこと。

次に教育関係ではこの町には家政高校が一つあり小学児童約二、〇〇〇名、中



木村知事のおみやげ話

国際教養講座開く

国見町では十一月二十二日午後二時から町民福祉センターで国際教養講座を開いた。講師として木村知事を招き、昨年全国知事会主催のヨーロッパ視察団長として、ソ連を始めヨーロッパ諸国を訪問視察したときのお話を聞いた。公民館では明治学級、婦人学級、壮年学級に呼びかけて合同学級の一年環としたためあつて約三〇〇名の出席があり、さすがの大講堂も満員の盛況、ユーモアまじりの知事さんの面白いお話を傾、終つて県民室長赤井茂雄氏の司会で質疑応答、婦人会長高梨ミネさんをはじめ各階層の人々の熱心な質問や要望に対し、知事さんからは懇切に丁寧な答弁があつた。

写真は熱心に聞き入る来聴者たち後にして次の視察地に向つた。(斎藤勸吉記)

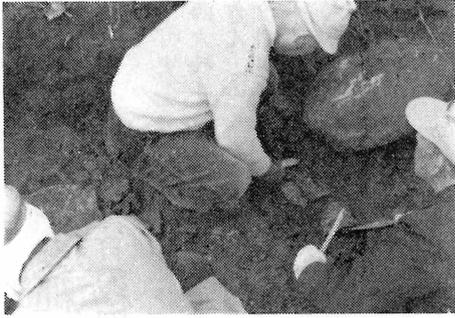
お悔み申し上げます

(十一月中に亡くなられた方 敬称略す)

死亡日	氏名	年令	住 所
11、10、31	佐々木 仙	71	石母田榎木25
1、31	松浦 万吉	76	西大枝水雲11
3	蓬田 キチ	62	徳江 前原22
6	後藤市四郎	82	藤田 一丁田三、14の10
10	村上 イク	74	大木戸遠光原20
20	吉田 幸平	81	山崎 中島50
21	古川 とき	55	藤田 中沢一、4
21	三の輪理助	70	森山 中上野9
26	鴨田セキノ	71	内谷 西脇64
26	本間 友三	77	森山 中上野1の1
27	佐藤 定男	66	貝田 町裏28

礎石みつかる！

郷研会員の執念みのる



「徳江には、七堂伽藍の立派なお寺があった」という物語りは昔から伝えられ、これを裏付けるかのように珍しい布目瓦が出土する。はたしてそのお寺は、いつの時代に、どの場所に、どのような規模で建てられたものか、更に福島腰浜、湯野西原、遠くは白河借宿、陸奥多賀城等の諸寺との関係はどうかなど、解明すべき問題がたくさんある。

町史編纂室では、この問題の解明に何等かの手掛りをつかみ、資料を提供せんものと、遺跡調査では最も難物とされている「廃寺跡発掘調査」という事業に踏み切ったのである。担当者に県文化財専門委員梅宮茂

先生を招き、調査員として宮城県多賀城跡調査研究所員工藤雅樹、同桑原滋朗、同進藤秋輝、同西脇俊郎、福島県文化センター所員藤田定興それに県北中教諭渡部正俊の諸氏を委嘱した。この大事業に対し、国見町郷土史研究会（会長早田盛氏）並びに地元徳江区（区長佐野市郎氏）では全面的に協力を申し出で、時あたかも秋あげの真最中にも拘らず連日二十余人の作業員が出動し唐ぐわ、スコップ、ベルコンを使っての重労働から、移植べら、竹べら、はけを使う精密作業に至るまでやってのけたのはさすまでであった。おかげさまで十五日から二十一日まで一週間の予定のところ一日早く仕上り、二十日には町内有志百余名の参集のもとに現地説明会を開いて有終の美を飾ることができた。

今度の調査の最大のやまは、昔の建物の礎石とみられる大きな石（写真）一つとその根石数か所見付け、寺院遺構研究の手掛りができたことであり、更に史実考証のために珍重されるたぐさんの瓦や石器が出土したこと、観音寺の沿革に有

力な資料となる古文書が発見されたことなど、まことにみのりの多い調査であったことを関係者みんなが喜ぶたい。

この調査に当り、前記先生方に対してはもちろん、郷研会員、徳江区民の皆様熱意とご苦勞に対し深甚なる感謝の意を表する次第である。特に貴重な桑園を提供してくださった八巻スミさん、引地芳男さん、まかない一切を引受けて元氣をつけてくださった観音寺阿部さんご一家の皆様いろいろとご迷惑をおかけしたにも拘らず一切水に流し、心よくご協力くださった近所の方々に対し最高の敬意と感謝を申し上げ、更に今後、進んで調査研究を行なうことがあったときには、またよろしくご協力たまわりたくお願いしておきます。尚最後にの現地説明会における担当者梅宮先生のおことばを掲げておく。

（鈴木）



重要文化財に指定か

二五〇年前の古民家

国見町の古民家が重要文化財として県の指定を受けられるかも知れないと今問題になっている。大字小坂字木八丁佐藤勝一さんの家がそれで、今度高速道路関係の遺跡調査の結果発見されたものである。県では文化財専門委員草野和夫氏（東北工業大学教授）を派遣して調査したところ、少くも十八世紀半ばをくだらない、民家として県内に珍らしいものとの大鼓判が押された県では早速これを重要文化財候補として検討することになり、その手続き方を教育委員会に申入れてきたのである。

第一回文化財研究会

郷土史研究会（会長早田盛さん）では十二月十日午後一時から町民福祉センターで文化財研究会を開いた講師は県文化財専門委員梅宮茂先生、県教委編「文化財読本」を使いながら、文化財の意味や種類について、おもしろく、しかもわかりやすくお話しされた。先祖から伝わっている貴重な文化財がいかに大切なものか、これを保存するにはどうすればよいか……などほんとうに有意義な研究会であった。

今後数回にわたり開く予定なので、今回出席されなかった方も、次回からは是非出席されるようおすすめる。尚テキストに使った「文化財読本」家内中で見てもよい本なので一冊一冊備え付けられるようおすすめる。ご希望の方は代金三五〇円添えて公民館内郷研事務局へお申込みください。

佐藤さん方では近くこれをとりこわすことになっていながら、指定文化財となれば、これを町に寄付するといっている。町ではこれを完全に移築復元してできるだけ民俗資料館として利用したいといっている。（写真は問題の古民家）

おめでとうございます

（十一月中出生届をされた方 敬称略す）

出生日	氏名	親名と続柄	住所
10、25	後藤 和弘	直一の長男	取島 大門17
27	遠藤 裕	武男の2男	泉田 堰下39の1
31	八巻 孝幸	孝雄の長男	徳江 館12
11、2	大浪有希恵	政輝の2女	川内小又1の2
2	紺野 英敏	敏男の長男	山崎沢田4の6
4	高橋 慎一	政味の長男	藤田 北34
4	遠藤 修	征男の2男	取島 深田20
11	佐藤 正敏	喜藤治の長男	石母田 蛭沢49
19	朽木 匡史	正美の2男	泉田 堰下39の1
20	佐久間みどり	道夫の2女	塚野 目北塚28
20	佐野美智子	伊勢夫の3女	徳江 佐野台16
21	横山 町子	邦夫の2女	泉田 堰下39の1

ここにも縄文遺跡

竹の内を予備調査

町史編纂室ではこのたび西大枝字竹の内、玉手昭市さん方の桑園などについて予備調査をしたところ、りっぱな縄文時代の遺跡であることがわかり、関係方面に波紋を投げかけている。

このへんの畑には前々から石器や土器が出るという話があるというので、去る今日五日の日曜日、県史編纂室目黒吉明先生、福大古へんから東大枝分にかけて

素顔のアメリカ (その二)

今度は、生活を中心に話題をしぼってみたいと思えます。まず車が無くても生活が成りたないと言っても過言ではないでしょう。

買い物、銀行、食堂、映画ホテルとほとんどが、車で買ったまま、あるいは利用して出来る様に作られてあります。生活水準はと言うと、どこでも物価高に悩まされて大変でしたが、一段上のクラスでの生活程度の悩みというべきで、同じ悩みでも日本とはちよつと違う様です。一人の平均年収が三千七百ドル(百十三万)位で特に婦人、高年令者の職場進出が数多く見受けられ、食堂のウイトレスと

相当広く先住民族が住んでいたものと思われる。年代は縄文後期から晩期にかけてだから今から三千年前頃であろうと目黒先生はいつている。

町では早速文化庁その他関係方面に連絡をし、本調査をすべく準備を進めることになった。

(写真は現れた縄文土器)



でくれたときは五十セントと二十五セントを要求されます。この辺の感覚は最初ピンと来ないので慣れるまで苦労したものです。食事は朝簡単にトースト、コーヒー、卵、ハムですませ昼と夜には充分時間を取り、食事を楽しんでいきます。



合理的に時間を必要としないムダを省いた生活とでも言った方が良いかも知れません。服装も普段着は実質素で、特に若者は自分の個性に合わせ上手に着こなして、流行に追いやられてい

た我々には、ビックリさせられたものでした。

家庭の中で長年使用する家具、調度品は豪華で立派な物を取り揃え消耗品は金をかけずナイフ、スプーンは日本製品が目白押し、どこへ行っても日本製品のはらんです。

物質の豊富の国らしい優がな、生活の一面でもあった様です。

(フオートワースの道場で)

小坂 後藤与志男

(国民年金特別融資)

藤田総合病院透析(人工腎臓)センター

藤田総合病院透析(人工腎臓)センター

慢性腎不全患者(尿毒症)に対する腎移植が未だ一般化されていない現在、その対策として透析(人口腎臓)療法に依存する以外にない。

しかし透析療法は装置に莫大な費用を要すること。熱練した医師、看護婦、そ

の他技術者が必要なこと等から全国的にその施設が不足しております。

公立藤田総合病院では国民年金特別融資を受けて建設中の透析センターの完成も間近となり、慢性腎不全疾患(尿毒症)に悩む県内各地に散在する患者から東北初の透析センターの完成が期待されています。

あつかし俳句会(十一月二十日)

兼題 「木枯」 「大根」 席題 「末枯れ」

* 末枯の径とほとほと成人検診 早田 灰鳥

* 木枯や大いなる朴落ばさと落つ 奥山 甲二

* 木枯に寥々として月孤なり 斎藤黄鶴楼

* 干大根軒に醸せる風物詩 一陽

* 木枯や意谷わぬ夜は声尖る 正雄

* 木枯や泣く／＼里子遠さかる 正一

* 木枯に隣も何処ぞ釘を打つ 痴仏

* 未枯の枝を見上げて秋深し 蕪水

* 木枯や月の明るく犬吠ゆる 雨田

* 大根を半分買ふて世帯初め 泰山

* 木枯や墓上の木々を吹きぬけて 吐絹

* 木枯の止みて夕月輝けり 山月

* 木枯や破れ障子も見逃がさず 木公

* 木枯や吾子の家路の砂を読む 昭子

* 木枯の笹の声聞く母の里 貞子

* 木枯や悲母観音のおはします 栄子

* 木枯の髪はなだめてくしけする